

近江兄弟社中学校 学校評価(2016年度)

本年度の重点目標(概要)

- ・建学の精神のもと「いのちを大切にする教育」をすすめる。暴力や暴言、いじめを許さない姿勢で臨み、教師自らも人権感覚を研ぎ澄ませておく。
- ・「あいさつのできる子ども」、「人の心の痛みをわかる子ども」、「自ら行動できる子ども」の育成、クラス運営においても「子ども達自身が一人一人を大切に」、「友だちを大事にする集団づくり」を目指す。そのために、教師自らが率先してあいさつを行う。
- ・「落ち着いた学習環境」を中心に据え、真剣に学ぶ姿勢を養い、はじめある学校生活を身につけさせる。
- ・シラバスの有効利用により、生徒たちが目的意識を持って学習が進められるよう丁寧な教科ガイダンスをおこなう。
- ・授業アンケートの結果の分析も行い、年度途中の点検と検証を各教科で取り組む。
- ・ICT活用能力向上のため、授業研究を進める。
- ・子どもたちの自主活動の発展を目指す。生徒会主催による全体礼拝や広報活動を援助し、「自分たちの学校づくり」を応援すると同時に、リーダー層の育成をはかる。

領域	番号	設 問	自己評価	総合評価	備考
1	1	学校の教育方針や教育目標について理解が得られるような取り組みをしている。	A	A	教職員・保護者
	2	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう、教育活動に取り組んでいる。	A	A	教職員・保護者
2	3	シラバスにそって、計画的でわかりやすい授業展開につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	4	指導力を高めるために、公開授業・研究授業・校外内の研修につとめている。	A	A	教職員・保護者
	5	教室のCPやプロジェクターやICTを利用してわかりやすく資料等の提示をしている。	A	A	教職員・生徒・保護者
3	6	基本的な生活習慣の確立や挨拶などの指導を自ら進んで実践している。	A	A	教職員・生徒・保護者
	7	生徒の規範意識を育む指導を行っている。	A	A	教職員・保護者
	8	生徒の問題行動や生徒の小さな変化の早期発見・早期対応をしている。	A	A	教職員・保護者
4	9	生徒個々に応じた進路選択ができるような進路指導につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	10	面談等で生徒の学力分析を行い、進路に向けた指導を行っている。	A	A	教職員・生徒・保護者
5	11	生徒会活動を通じて自主自律の精神を育成すると共に生徒の自覚や連帯感を育てている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	12	生徒会行事の意味やねらいを理解し生徒の意識高揚につとめている。	A	A	教職員・保護者
6	13	学校図書館を計画的に利用し生徒の学習活動や読書活動の充実につとめている。	B	A	教職員・生徒・保護者
	14	図書館の情報を提供し、利用を促進するようつとめている。	B	A	教職員・生徒・保護者
7	15	生徒の健康観察につとめるとともに、適切な対応をおこなっている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	16	学校だよりや保健だより等を活用して健康安全に対する意識の向上につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
8	17	いのちを大切に教育、豊かな心や人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	18	いじめや暴力のない集団づくり、学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
9	19	生徒に環境について考えさせたり、リサイクル運動などの指導を行っている。	B	A	教職員・保護者
	20	清潔な環境づくりのため清掃活動につとめ、美化意識を向上するため努力している。	A	A	教職員・生徒・保護者
10	21	個人情報保護や管理に注意を払い、文書管理等を適切に行っている。	A	A	教職員・保護者
	22	教育に関わる施設・設備の保全や学校環境の整備につとめている。	A	A	教職員・保護者
11	23	教育活動をホームページや学校だより・クラスだより等を通してわかりやすく伝えている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	24	保護者からの連絡や相談などに丁寧に対応するようつとめている。	A	A	教職員・保護者
	25	PTA活動等に積極的に取り組み、保護者が授業・行事などに参加できるようつとめている。	A	A	教職員・保護者

※評価表の見方

12月 評価の実施(12月までの教育活動に対する評価)

3月 総合評価の公表(年間の教育活動に対する総合評価)ABCDの4段階評価で示す。

・評価者は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある)

・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。